



外来からのご案内

フットケアルームのご案内

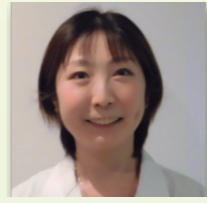

2022年8月より毎週水曜日の午後、フットケアルーム[※]を行っています。足にしびれがある、巻き爪で爪が切りにくい、胼胝(タコ)や魚の目があり痛むなど、色々な足の悩み相談や処置などを行っています。特に糖尿病の方は異常がなくても、年1回受診し、足の評価や相談を受けておくことをお勧めします。小さなトラブルがもとで重症化することもあります。フットケアは糖尿病療養指導士が行っていますので、主治医に一度ご相談ください。お待ちしております。



日時:水曜日 13時~16時
 予約制:お一人様およそ30分
 内容:足の相談、足浴、爪切り、
 胼胝(タコ)・魚の目処置、マッサージ等
 医師:院長 岡田 薫
 担当スタッフ:糖尿病療養指導士他

糖尿病外来担当医等変更のお知らせ

本年4月から糖尿病外来の担当医ならびに診療日を下記の通り変更しております。

診療日	火曜日	土曜日
受付時間	12時30分~15時30分	8時30分~11時30分
診療時間	13時00分~16時00分	9時00分~12時00分
担当医	 大阪医科薬科大学 糖尿病専門医 森本 貴子	 青山藤ヶ丘病院 総合内科専門医 牧野 泰博

地域包括ケア病棟とは

地域包括ケア病棟は、急性期病棟に比べ緊急性は高くないものの、在宅での療養に不安がある方や、リハビリなどのサポートが必要な方で、退院後も患者さまが住み慣れた地域で生活するためのサポートをする病棟です。



「時々入院、ほぼ自宅」を実現するために

- 治療後に体力が低下してしまいすぐに退院できない。
- 少しでもリハビリをして退院したい。
- 自宅で頑張っていたが持病があり悪化してきた。
- 最近ご飯が食べづらくなってきた。
- 介護してくれる家族がケガをしてしまい頼ることができない。

こんな悩みを抱える方々に、地域のかかりつけの先生方と連携しながら利用していただく病棟です。

地域包括ケア病棟は「おうちで暮らす」を目標としているため、入院期間は60日までと決められています。

メディカルソーシャルワーカーってご存じですか？

初めて聞かれる方も居られるかもしれませんが、簡単に言うと病院の地域連携部に在籍している、よろず相談員[※]です。「社会福祉士」または「精神保健福祉士」という国家資格を取得しており、福祉や医療の専門知識を有しています。私たちは、入院・退院の調整や介護保険に関する事、その他患者様やご家族が抱える悩みごとなどをお伺いし、問題を見つけ出し、解決を図るために院内だけでなく市町村・地域の関係事業所とも調整や連携を行います。また、医師や看護師に上手くご自身の意思を伝えられないような時にも私たちにお気軽にご相談ください。

具体的にはつぎのような援助をおこなっています。

- 療養中の患者様やご家族の心理的・社会的問題の解決やその調整援助
- 患者様の退院援助と退院後の生活支援・社会復帰支援
- 患者様およびそのご家族の受診、受療に関する援助
- 患者様とご家族が抱える医療費や生活費などの経済的問題の解決・調整援助
- 他病院や診療所等との地域連携
- 地域ケア会議などの参加による地域活動

このようなご相談がございましたら、1F受付へお声かけください。担当者がお伺いし、親切に対応させていただきます。

(受付時間…平日9時~17時
 / 土曜日9時~12時)

